



熊大は益城町の復興を長期に支援します!!

熊本大学でまちづくり・防災・都市計画などを学ぶ学生とその教員は、5月から益城町の復旧・復興活動を継続的に支援してきました。この復興応援便り(ニュースレター)は、その活動の一部を定期的に紹介します。

避難所の環境改善に取り組む熊大生
5月18日 益城町総合体育館



報告 仮設住宅でベンチを製作・贈呈しました



6月15日と20日に仮設住宅（広崎・赤井）で、熊本大学工学部の学生がベンチを製作しました。共用スペースに設置しております。ささやかな試みですが、憩いの場として、井戸端会議や語らいなど、みなさまにご利用いただければ幸いです。

お知らせ 仮設での暮らしと今後についてお話を伺います

益城町と熊本大学の共同で、仮設住宅の住民のみなさまへの聞き取りを実施いたします。入居説明会で説明いたしましたように、目的は右記のとおりです。熊本大学の学生がお話を伺います。ご協力をよろしくお願いいたします。

聞き取りの目的

- ①必要な復興住宅の戸数・希望される場所を把握する
- ②現在の不自由な点、ご不安なことを幅広く伺う